

2016年7月5日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086  
神戸市中央区磯上通 7-1-5  
www.lilly.co.jp

EL16-42

## 絵画・写真コンテスト 「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス がんと生きる、わたしの物語。」 第6回の受賞者5名を発表 ～ 最優秀賞は藤井高志さん(北海道)と児玉秀俊さん(長野県)～

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン、以下、日本イーライリリー)は2016年7月4日(月)、東京都内にて第6回「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス がんと生きる、わたしの物語。」絵画・写真コンテストの授賞式を開催し、絵画部門と写真部門あわせて69件の応募の中から、5名の受賞者を発表、表彰しました。



【受賞者、審査員、後援者、主催社による記念撮影】

### 第6回「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス がんと生きる、わたしの物語。」受賞者

#### 【最優秀賞】

絵画部門: 藤井 高志(ふじい たかし)さん (北海道北広島市/63歳) 『羊の思い・我が記録』  
写真部門: 児玉 秀俊(こだま ひでとし)さん (長野県松本市/54歳) 『夜明けの賛美』

#### 【優秀賞】

絵画部門: 高橋 憲悦(たかはし けんえつ)さん (青森県青森市/69歳) 『雪片付け』  
写真部門: 関 一(せき はじめ)さん (神奈川県横浜市/62歳) 『冬の幻想・樹氷の森』

#### 【一般投票賞】

絵画部門: 豊田 明日香(とよだ あすか)さん (東京都国分寺市/30歳) 『生を願う』  
写真部門: 児玉 秀俊(こだま ひでとし)さん ※「最優秀賞」と同時受賞

受賞作品の画像・エッセイ(抜粋)を p3-4 に掲載しております。画像データもご用意しております。

日本イーライリリーの執行役員でオンコロジー事業本部 本部長のアレクサンダー・ホーンは、次のように述べています。

「がんの患者さんや支援者の方々に、絵や写真を通じて想いを表現する場をご提供できれば、と始めたリリー・オンコロジー・オン・キャンパスは、今年で 6 回目を迎えました。本コンテストが、がんになっても自分らしく生きられる社会の実現の一助となり、同じ体験をされた方々に勇気を与えてくれることを願っています。弊社は今後も革新的な抗がん剤の開発に取り組むとともに、患者さんや支援者の皆さんの心に寄り添い、継続的なサポートを提供してまいります」

第 6 回の受賞作品は、今後全国の医療機関や疾患啓発イベント等で展示される予定です。

## <第 6 回「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス がんと生きる、わたしの物語。」 募集・審査について>

募集期間： 2015 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日

応募件数： 絵画部門 33 件 写真部門 36 件

募集テーマ： 「がんと生きる、わたしの物語。」

審査： 【最優秀賞、優秀賞、入選】

絵画・写真作品ならびに制作背景を綴ったエッセイについて、作品の技術的・芸術的な評価よりも募集テーマを的確にとらえた作品であるかを重視し、以下 4 名の審査員により 2016 年 4 月 11 日に行われ、最優秀賞、優秀賞、入選の計 12 点を決定しました。

【一般投票賞】

審査員により選出された作品 12 点を対象に、4 月 15 日～5 月 29 日の期間中、リリー・オンコロジー・オン・キャンパスホームページおよび Facebook にて一般投票を実施し、決定しました。

審査員： 蓑 豊 (兵庫県立美術館館長)  
岸本 葉子 (エッセイスト)  
東儀 光則 (銅版画家)  
平山 ジロウ (フォトグラファー) ※敬称略／順不同

賞： 最優秀賞(各部門 1 名)、優秀賞(各部門 1 名)、一般投票賞(各部門 1 名)、入選(若干名)

## 第 7 回「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス がんと生きる、わたしの物語。」について

第 7 回の作品募集は 2016 年 8 月 1 日に開始します。日本イーライリリーは、本コンテストを通じてひとりでも多くの患者さんや支援者の方々の心に寄り添い、がんになっても自分らしく生きられる社会の実現を目指して継続的なサポートを提供してまいります。

## 日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、疼痛、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん、結腸・直腸がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>

**【最優秀賞】 絵画部門**

藤井 高志（ふじい たかし）さん <北海道北広島市> 作品タイトル 『羊の思い・我が記録』



■エッセイ(抜粋)

定年まで2年残して退職した。我が世の春といった思いで、存分に絵を描く毎日であったが、2013年1月18日朝に突然の血痰、検査の結果は肺の癌であり、幾つもの転移が認められ第IV期とのことであった。

当時は牧歌風景として描こうと思い取材したのだが、治療を続けながらこうして描いてみると、まさにこの羊が私自身に思えてくる。いろいろなことがあっても心境がこの羊のように穏やかな精神力を保ちたいとの願いを込めて。

---

**【最優秀賞／一般投票賞】 写真部門**

児玉 秀俊（こだま ひでとし）さん <長野県松本市> 作品タイトル 『夜明けの賛美』



■エッセイ(抜粋)

私は、約3年前に膵臓癌と診断されました。あまりにも突然の言葉で気持ちが真っ暗になりました。

そんな闇夜の世界でありましたが、自分の人生を振り返る時間ができ、自分をリセットでき、チャンスをもたらした！と考えるようになりました。

不安があるが、前向きにしていると必ずいいことがある！闇夜の世界から明の世界へ！移り変わる時こそ、賛美される時である。

**【優秀賞】 絵画部門**

高橋 憲悦 (たかはし けんえつ) さん <青森県青森市> 作品タイトル 『雪片付け』



■エッセイ(抜粋)

3年前に肝細胞がんの手術を受け、翌年、翌々年と再発を繰り返し、今また再々発が見つかり近く入院手術の予定です。でもそのことは気になりません。

この雪のように、降ったら(再発したら)片付け(始末し)、降ったら片付けていく。その間には春も夏も秋も、美しい季節も楽しめるし、その時々美しい風景を絵に描くことの楽しみが私にあるからです。

**【優秀賞】 写真部門**

関 一 (せき はじめ) さん <神奈川県横浜市> 作品タイトル 『冬の幻想・樹氷の森』



■エッセイ(抜粋)

術後半月程で職場復帰し、ダンピング症状と貧血に苦しみながらも徐々に体力が回復してきた頃、私が行きたがっていた冬の上高地撮影旅行を2015年2月に実施すると写真部から連絡がありました。

冬の上高地撮影は雪上を数キロ歩くハードなもので、体力面で不安でしたが筋トレとジョギングを開始し撮影会に備えました。厳冬の大正池に辿り着いた時の感動は忘れられません。

**【一般投票賞】 絵画部門**

豊田 明日香 (とよだ あすか) さん <東京都国分寺市> 作品タイトル 『生を願う』



■エッセイ(抜粋)

私の母が乳癌を患ったのは大学生の時のことでした。私たち家族にとっては衝撃的なことでした。

癌という病を通して、私は母とまた多くの人の命について考えることができました。当たり前にあるものが無くなりそうになってその大切さに気づくのではなく、いつでも一人一人の人を大事に尊く思う心を持ちたいです。その思いを込めて、切実に生を願ったその日を忘れないために絵を描きました。

※受賞作品の画像データもご用意しております。ご希望の際は、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。